

第5回 市場小学校第二方面校開校準備部会会議録	
日 時	平成28年9月28日(水) 19時～20時35分
開 催 場 所	市場小学校 図工室
出 席 者 (21名)	佐藤部会長、武藤副部会長、畑委員、森田委員、大伴委員、神藏委員、岸委員、村田委員、丸山委員、谷委員、藪田委員、上遠野委員、菅野委員、秋本委員、益子委員、貴志委員、横田委員、川端委員、渡辺委員、室井委員、青木委員
欠 席 者 (2名)	佐野委員、益田委員
開 催 形 態	公開(傍聴者2人)
議 題	1 関係地域の通学区域について 2 分校名案の選定方法について (その他) 1 通学安全点検について
決 定 事 項	1・第二方面校所在地周辺の通学区域については、平成32年度より以前に通学区域の変更を行う案を開校準備部会の意見とする。 ・ナイスクオリティス横濱鶴見の通学区域については、平成32年度の新1年生からを対象に、鶴見小と市場小の特別調整通学区域を設定する案を開校準備部会の意見とする。 2 分校名案の選定方法については、市場小で児童からアンケートをとって、その中から案を3つ選定し、次回部会で検討する。
議 事	1 関係地域の通学区域について (事務局より「関係地域の通学区域」について説明) 第二方面校所在地周辺 (事務局)：現状では、第二方面校所在地周辺の区域は下末吉小と末吉中が指定校になっているので、原則その地域にお住まいのお子さんは下末吉小・末吉中に通わなければならない。ただ、第二方面校が分校として建つ区域のため、市場小・市場中の学区にすべきと教育委員会としては考えている。それを開校にあわせた時期にするのか、もう少し前から変えるか、検討いただきたい。下末吉小・末吉中へも通うことのできる方法も残しておくというような設定の仕方も可能ではある。 (委員)：同じ地域でも学校が違くと交わりがなく、一緒に何かしようとしても馴染めない。できれば市場小にして、一緒に活動するようにしてやりたいと思っている。 (委員)：第二方面校所在地周辺の区域で、今現在下末吉小に通っている1、2年生で平成32年度に転校しなければならない子どもはいるのか。 (事務局)：この区域については、今は下末吉小が指定校になっているが、小学生の子どもは現状ではない。未就学児の子どもが今は数名いる。

(委員) :そこには何世帯ぐらいいるのか。

(事務局) :10 世帯程度だ。

(委員) :この区域から小学校に通っている児童がいないとすると、案2の平成32年度より以前に通学区域の変更を行うほうにメリットがあるということか。これから小学校に入ってくる子どもが出たとすると、その時点で市場小に入れるようにしたほうがいいのかということで案2があるということでもいいか。結局はメリット・デメリットを考えないと、一般的にどうかと言われても、判断が付かないのではないか。もし今、本当にいないのであれば、案2でいいのではないかと思う。これから入ってくる人のことを考えると、案2のほうがいいはずだろう。

(委員) :今通っている子どもがいなくなることが決め手になるのかと思う。平成32年度に通学区域を変更するということになる、それまでに入学している子どもたちは友達関係もできているところに行きたいということになるし、そのきょうだいがいればきょうだい通っているところに行きたいということになるので、基本的にはその前から学区変更しておいてあげたほうが、どっちにしようかというところが無くなるのかと考えている。

(委員) :基本的には分校ができるのであれば分校に、中学校は市場中に行くようにしてほしい。

(委員) :案2だとすると、平成32年度より以前ということだが、いつからか。平成29年4月からか。

(事務局) :通学区域の規則改正に関しては、ある程度時間がかかる。来年度の新1年生は今のところいない状況だ。この部会が終了したらすぐにでも通学区域の変更を考えている。転校生が来た場合は、指定地区外就学許可制度という手続きもあって、今回部会でこのように決まったというのであれば、その趣旨に一番の重きをおいて、校長とも相談の上、手続きをしていくのがよいかと思う。

(部会長) :第二方面校所在地周辺の通学区域については、案2の平成32年度より以前に通学区域の変更を行うということではよろしいか。

(一同) :異議なし。

ナイスクオリティス横濱鶴見

(委員) :学校の行事やPTAの会議等への対応は、会長と副会長で手分けして鶴見中と市場中に出席していて、考え方としては、中学校の通学区域については現状のままというのを希望する。小学校については、案3の平成32年度の新1年生からを対象に鶴見小と市場小の特別調整通学区域を設定してもらいたい。

(事務局) :第二方面校所在地周辺と違うところは、ナイスクオリティス横濱

鶴見に関しては、未就学児にかなりの人数がいる点だ。平成 32 年度より前に学区を変更したり、特別調整通学区域を設定して、市場小を選択する数がかかなり多くなった場合、平成 32 年度の分校開校前に受け入れきれなくなる可能性がある。事務局としてはナイスクオリティス横濱鶴見については、平成 32 年度の新 1 年生からを対象にさせていただきたいと考えている。その上で、平成 32 年度の新 1 年生から、どちらかの学校にするか、どちらでも選べるようにするか。平成 32 年度からであればどちらを選んでいただいても大丈夫なようにハード整備を行う。平成 32 年度より前に鶴見小に入学されたお子さんに関しては、転校というようなことはない。

(委員) : 鶴見小での受入は問題ないのか。大きなマンションができています。

(事務局) : 鶴見小では昨年度増築工事を行った。最近開発された大規模マンションを想定した教室数を確保するなど、受入環境を整えている。

(部会長) : ナイスクオリティス横濱鶴見の通学区域については、案 3 の平成 32 年度の新 1 年生からを対象に、鶴見小と市場小の特別調整通学区域を設定するというところでよろしいか。

(一同) : 異議なし。

2 分校名案の選定方法について

(事務局より「分校名案の選定方法」について説明)

(委員) : アンケートを配ったわけではないが、所属団体に分校の名前を考えてくださいと提案をしたが、特にこれといった意見は出なかった。さわやか分校や森永橋分校という意見があったが、企業の名前はどうかというところだ。地名にしても、これといったものも無いので、出なかった。

(委員) : 市場小学校の分校ということで、案 1 の市場小学校分校でいいのではないか。

(委員) : 所属地区の民生、児童委員の定例会と関連のこども会の定例会で意見を聞いたが、やはりほとんど市場小学校分校でいいという意見だ。2 校体制ではなく分校にするとなったのに、また名前をつけるのはどうかという意見がほとんどだった。

(委員) : 子ども達には諮っていないが職員に少し話をした。子ども達が分校に行く時、分校名を子ども達が考えていれば、自分達が名前をつけた学校に行くという意欲がやはりあるのではないか。子ども達に考えてもらい、職員が入っていくつか選定したなかで、最終的に投票をしたりして、それをこの部会で決めていただく。第一候補はこれ、第二候補はこれだという採り方をさせていただき、それを基に決めれば、分校ができたときに、自分達が名前をつけたというところで意欲につながると思う。柔軟な子どもたちに案を出してもら

	<p>い、この中から決めようかということで子ども達に提示するということはできると考えている。</p> <p>(委員) : 募集するのは案外良い案だ。委員の言われるように児童に愛称をつけてもらう。</p> <p>(委員) : 子ども達に考えてもらうとは考えつかなかった。</p> <p>(委員) : 横浜の小学校でいまひとつあるのが新井小学校桜坂分校で、新井小学校と冠についている。ですから市場小学校何々分校ということでの名称には当然なると思うが、「分校」と呼ぶより、「何々分校」というほうが子ども達の意欲につながる。</p> <p>(委員) : 子どもに考えてもらうということをここで決めるということではないのか。</p> <p>(委員) : 子ども達から案を出して、部会で検討し、親会にあげてもらう形になる。</p> <p>(委員) : 子ども達が名づけるというのは、開校するのが楽しみになり、すごく良いと思う。案を考えるのは、実際に通うことになる1、2年生だけか。</p> <p>(委員) : 案は皆で考えて、その案を選定して、1、2年生の最終投票にするということも考えられる。そうではなく全学年で1、2年生に想いを託していくということで、皆で決めてということでも、説明すれば子ども達は本当に純粋なので、その気持ちは入っていくと思う。</p> <p>(事務局) : 新設校の名称を決める場合、アンケートをとることが多いが、方法1のような児童と地域の方の両方にアンケートをとって、最終的にこの部会の中でどれにするかということを考えるというのがよくあるやり方だ。今回の場合、もし方法1のやり方でやるのであれば、児童へのアンケートのやり方は、当事者である先生と相談しながらになる。地域の方々へは今回採るかどうかということろだ。</p> <p>(委員) : 子ども達が良いと思うのが一番いい。</p> <p>(委員) : 子ども達に考えさせてあげたいという想いにしていだければ。</p> <p>(委員) : 私が聞いたところでも、子ども達ではきらきら分校とかびかびか分校とかそういうのは多い。年が上がると、市場第二分校みたいな言い方をするが市場第二地区と重なって、混乱する。大人や卒業生になったりすると、あくまでも市場小学校と言うなら、市場小学校第二校舎。校舎が違うだけで、ひとつの市場小だというので第二校舎にしてもらいたいという意見もあった。</p> <p>(委員) : 私の地域でも同じ意見があった。</p> <p>(委員) : 元宮校舎にすると本校も分校も元宮にあるので難しい。</p> <p>(委員) : これくらい離れていたら校舎はだめだとか、校舎という距離感とかはあるのか。</p>
--	---

- (事務局) : 特にそのようなルールはない。分校という名称は学校教育法の中でははっきりと書かれている名称で、今回の場合、条例改正をして分校という形にするので、校舎ではなく分校というのを考えている。
- (委員) : 先ほど話があった子どもに案を出してもらおうというのをベースにして検討したらどうか。
- (委員) : 市場小学校の分校ということは変えようがない。子ども達が通うのだから子どもの意見もきいて決める方が、私達が決めるよりは良い。
- (委員) : 弟とか妹とかもいるだろうから6年までやればいい。
- (部会長) : では、児童に分校の名前を公募する。それを部会に持ってきてもらい、検討して決定する。
- (委員) : 1個しかあがってこないということか。
- (委員) : 最終決定ではなく、第一案、第二案というぐらいで持ってきた方がいいと思っている。
- (委員) : 2案もってきて、どちらにするかここで決めるということか。
- (委員) : 子ども達に多いのは第一案で、次に次点でと持ってきていたいと思う。最終的に子ども達の第一案が多ければ、これにしていこうとなるのか、バランスを考えると第二案になるというのであれば、子ども達にはそのように話す。
- (委員) : 子ども達の想いを尊重してあげられれば良い。
- (委員) : 基本は市場小学校の分校だから、普段呼ぶのが単に分校ではなく、なにか決まればいい。
- (委員) : 良い名前が出ればその名前を使えばいい。
- (委員) : 3案ぐらい出してもらったほうがいい。3案ぐらいあればいろんな案が出ると思う。アンケートなり、いろんな方法で3つぐらい選んでもらい、3つのうちどれにするかはここで決めるというのが良いと思う。
- (部会長) : 3つ案を出していただき、それを部会でみんなで検討するという事でよろしいか。
- (一同) : はい。
- (事務局) : 確認をさせていただく。分校名案については次回の第6回部会までに、学校と相談の上、市場小児童からアンケートを取り、案を3つ選定する。選定した3案を第6回部会で検討していただく。なお、分校名については条例改正を行うこともあり、通称ではなく、分校の正式名称になる。

その他 通学安全点検の実施について

- (事務局) : 第二方面校の開校に伴い、部会の中で「通学安全要望」をまとめ、関係者へ要望書として提出し、開校までに改善できる箇所について

は改善していただければと考えている。通学安全点検の方法としては、想定通学路を設定し、それを基に第二方面校まで通学したときに大きな問題がある箇所を抽出し、要望書として取りまとめ、部会終了後に鶴見区の区長などへ提出したいと考えている。

(委員) : 議論を所属団体でする中で、市の方からも、こういう特別なことをして、しかも通学路が危ないというのがみえているから、何人かの誘導者を出してもらいたい。例えば森永橋に行くところに危険なところはあるが、地域からたくさんボランティアをだしてやるということを初めから決めないで、特別にこういう学校ができるのだから、安全対策要員というか、人も提供するというのを要望してほしい。

(委員) : 9月20日にスクールゾーン対策協議会をやった。横断歩道の白線が消えて、よほど薄くなって見えない状態じゃないと予算が無いから直さないというのは、おかしいと思う。田村工業の信号のところの横断歩道に歩行者の信号をつけてもらいたいが、それもお金がないということだ。予算がないからやりませんというのではなく、その辺をしっかりとやっていただきたいと思う。

(委員) : 同様の意見はあった。方向性があるのであれば、それは無理ですとか、はっきりといまこの場で言ってほしい。

(委員) : ガードレールをつけるとかやっていかなければ子ども達の安全は非常に難しい。地下道を通って、元宮さわやか公園や工場の裏を通っていけば近いと思うが、人通りがないから不安な部分がある。あくまでいまの通学路を守っていくとなったら、しっかりと歩行者用の信号をつけるとか、車がスピードを出せないように車線を少し狭くするとか徹底してやっていただけたらと思う。

(委員) : 昔から熊野神社の脇のあたりが危ないと声を上げてても、何一つ変わらない。そのときも確かスクールゾーンの対策協議会で要望をだしたようだが何十年も変わらない。本当に変わるのかと思う。5年間で本当に安全を確保してもらえるのか、とても心配だ。ランドセルをトラックに引っ掛けられて、ふーっともっていかれた子どももいるが、死亡事故にならなかったから、そのままだ。改善をぜひお願いしたい。

(委員) : スクールゾーン対策協議会でも引き続き、ここはお願いしたいという陳情は重ねている。校外指導委員会と一緒に道を歩き、ここが危ないというところをちゃんと代表で見に来る。そしてしっかりと要望をあげられるように考える。

(事務局) : 通学安全点検に関しては、頂いたご意見を踏まえ、PTAのみなさま、校長先生、事務局などで10月頃に通学区域の安全点検を実施し、通学安全要望を取りまとめ、第6回の部会で要望書案をお示し

	<p>する。</p> <p>(部会長) : P T Aの方々ご協力よろしくお願ひいたします。</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特 記 事 項</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 次第</p> <p>(2) 委員名簿</p> <p>(3) 席次表</p> <p>(4) 市場小学校第二方面校開校準備部会ニュース第4号</p> <p>(5) 関係地域の通学区域について</p> <p>(6) 分校名案の選定方法について</p> <p>2 特記事項</p> <p>次回は、11月29日(火)19時から公開により開催予定。開催場所は、市場小学校。</p>